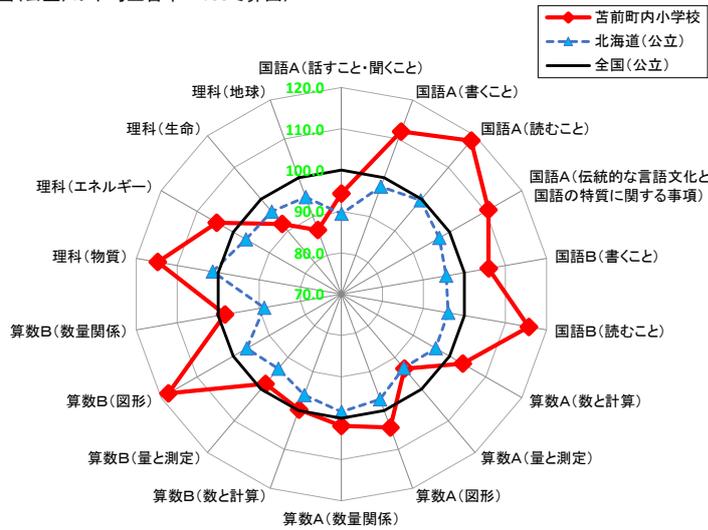


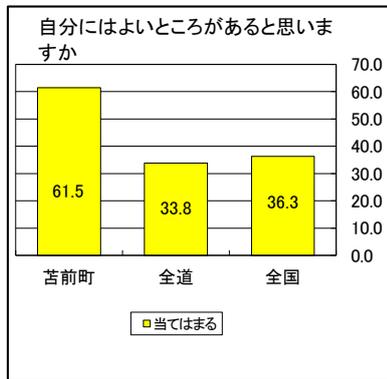
■ 苫前町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2、児童数:26名)

【教科全体の状況】

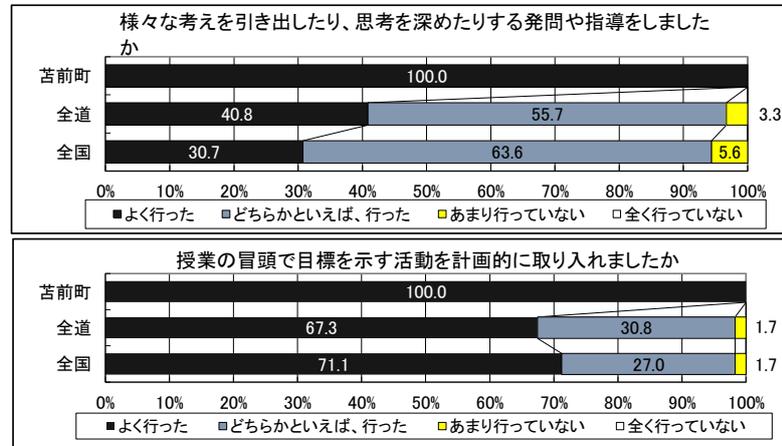
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは「書くこと」「読むこと」で全国及び全道を上回っている。 ○ 算数Aでは「数と計算」「図形」「数量関係」、Bでは「図形」で全国及び全道を上回っている。 ○ 理科では「物質」「エネルギー」で全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校で、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするなど、授業改善を図ったことにより、児童の自己肯定感が高まるとともに、B問題に対応する力が身に付いてきていると考えられる。 ○ 各学校で、引き続き、授業の冒頭に本時のねらいを示すことについて、徹底するとともに、ねらいに正対したまとめを行うなど授業改善を進めることにより、学力の定着が図られていると考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分にはよいところがあると回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な考えを引き出したり、思考を深めたりする発問や指導をしたと回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 授業の冒頭で目標を示す活動を計画的に取り入れたと回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

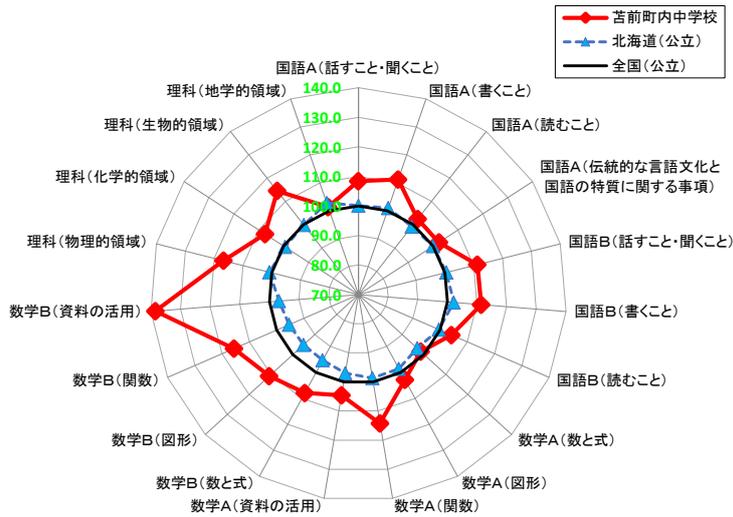
【苫前町の学力向上策】

- ◎ 町独自の学習支援員の配置
- ◎ 地域人材等を活用した長期休業中の学習支援(学びの寺子屋)の充実
- ◎ 各学校と連携した、町における全国学力・学習状況調査の結果分析に基づく、改善方策の策定

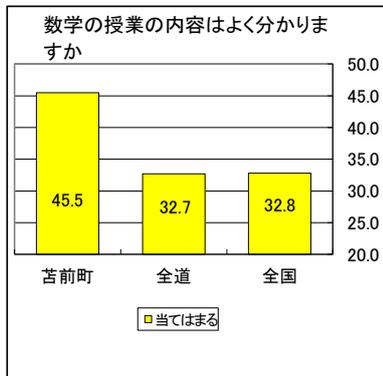
■ 苫前町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2、生徒数:22名)

【教科全体の状況】

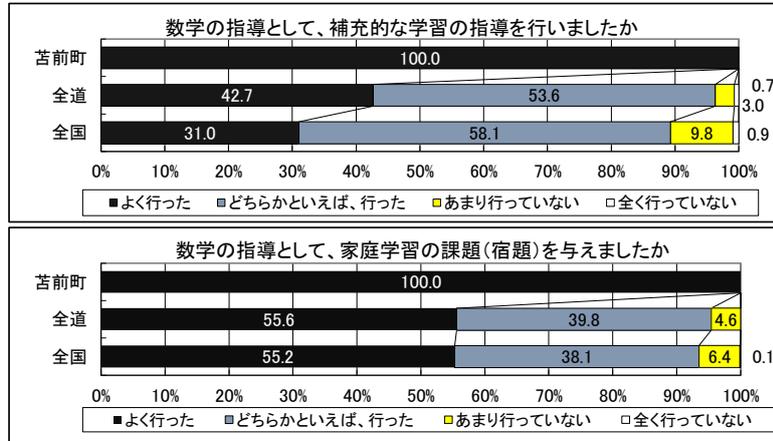
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A及びBの全ての領域で全国及び全道を上回っている。 ○ 数学Aでは「図形」「関数」「資料の活用」、Bでは全ての領域で全国及び全道を上回っている。 ○ 理科では全ての領域で全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学の指導として、補充的な学習を取り入れ、学習内容の定着を図る取組を充実することにより、数学の授業の内容がよく分かった生徒が増え、学力が向上していると考えられる。 ○ 各学校で、宿題をよく与えることにより、国語、数学、理科において、学力が向上していると考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学の授業の内容はよく分かった生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学の指導として、補充的な学習の指導を行ったと回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 数学の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えたと回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

【苫前町の学力向上策】

- ◎ 町独自の学習支援員の配置
- ◎ 地域人材等を活用した長期休業中の学習支援(学びの寺子屋)の充実
- ◎ 各学校と連携した、町における全国学力・学習状況調査の結果分析に基づく、改善方策の策定